

23区初 IoT 街路灯システムによる

河川ライブカメラの配信を開始します

迅速な水害対応や避難行動を起こす際の判断に活用できるようリアルタイムで河川映像を配信します。

区では、平成18年から河川監視カメラを設置し、平成26年からはWEB上で映像を配信していましたが、5分ごとの映像更新のため、近年増加している集中豪雨による急激な河川水位の上昇に対応できておらず、映像のリアルタイム化が求められてきました。

これを受けて区は、平成31年にIoT（※）街路灯システムを活用した映像のリアルタイム配信の実証実験を行い、配信が可能なことを確認してきました。

このたび、実証実験の結果を踏まえ、23区では初の試みとなる河川ライブカメラのリアルタイム配信を開始します。また、阿佐ヶ谷駅など水害発生地域において、IoT化した街路灯に冠水センサーを設置し、道路冠水状況を区が監視することにより、迅速な水防対策の実施につなげていきます。

河川ライブカメラの概要

【配信開始日】

8月30日 15時～

YouTube 専用チャンネル「杉並区河川ライブカメラ」

https://www.youtube.com/channel/UC8oWZuLfc_cBA0LmgWfA2Rw

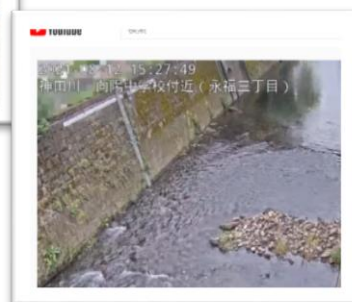
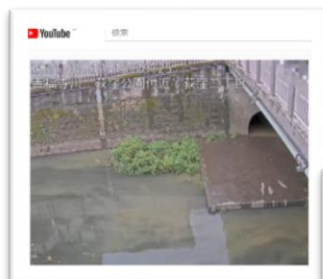
杉並区公式ホームページからアクセスできます。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/anken/saigai/hazardmap/kasenlive/index.html>



【設置場所】

- 善福寺川
 - ・ 関根文化公園付近（上荻四丁目）
 - ・ 荻窪公園付近（荻窪二丁目）
 - ・ 大宮中学校付近（堀ノ内一丁目）
- 神田川
 - ・ 向陽中学校付近（永福三丁目）
 - ・ 和田見橋上流（和田一丁目）





【期待される効果】

- リアルタイム化により、区民等が、避難行動のために必要となる正確な情報を、随時安全な場所で取得することが可能となります。また、SNS（YouTube ライブ）による映像配信を通じて、区ホームページにアクセスが集中し繋がりにくい際にも、映像を確認することが可能となります。
- これまで、水防配備態勢時には、職員が現地で監視・警戒を行ってきたが、今後は、安全な場所で遠隔による監視が可能となることから、職員の安全性を確保しながら迅速な対応を図ることができます。

※IoT（Internet Of Thingsの略。）

「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることでモノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな価値を生み出す。）

【問い合わせ先】

都市整備部土木計画課：03-3312-2111（内線3422）
総務部広報課：03-3312-2111（代表）